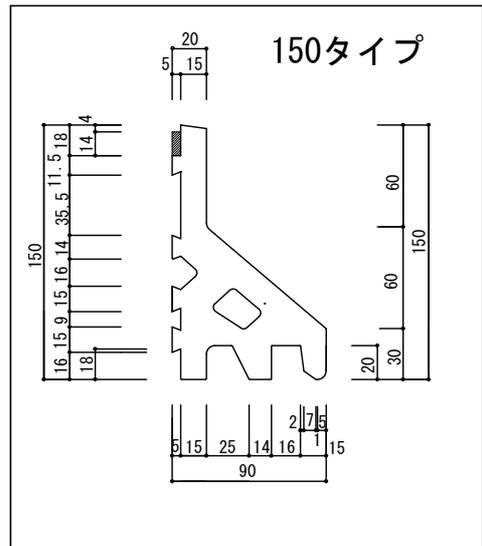
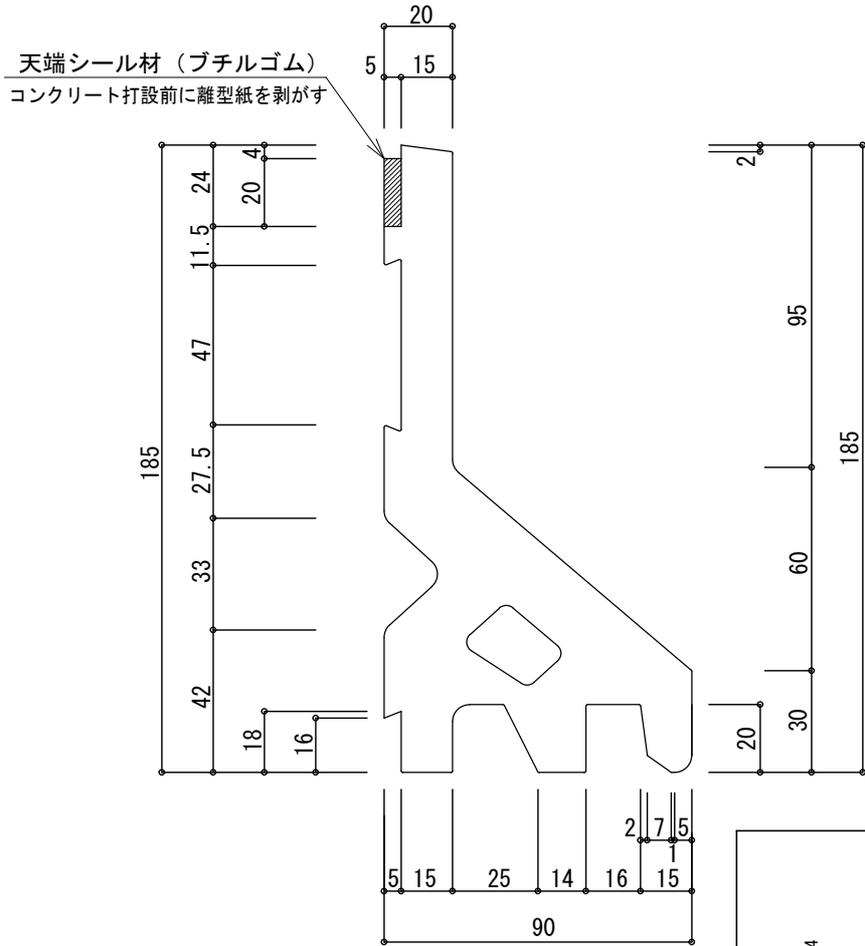
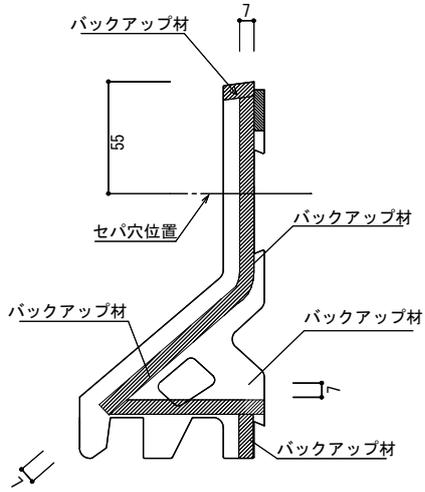


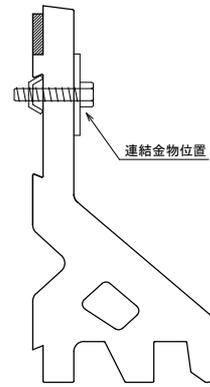
KRF-SO185 形状図



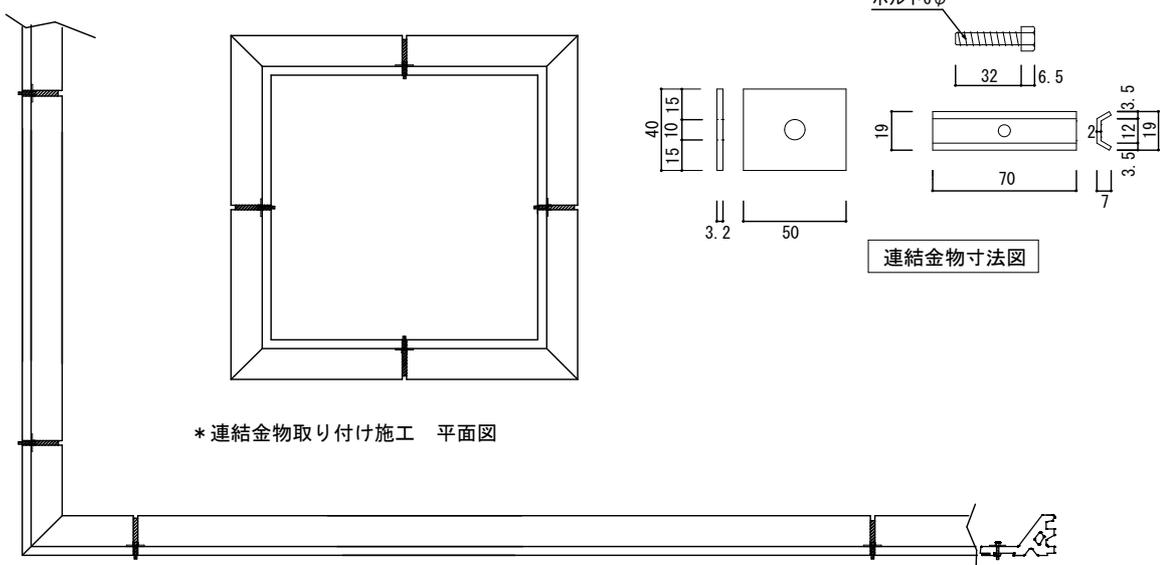
SO185 バックアップ材・連結金物 図



端部バックアップ材取付図

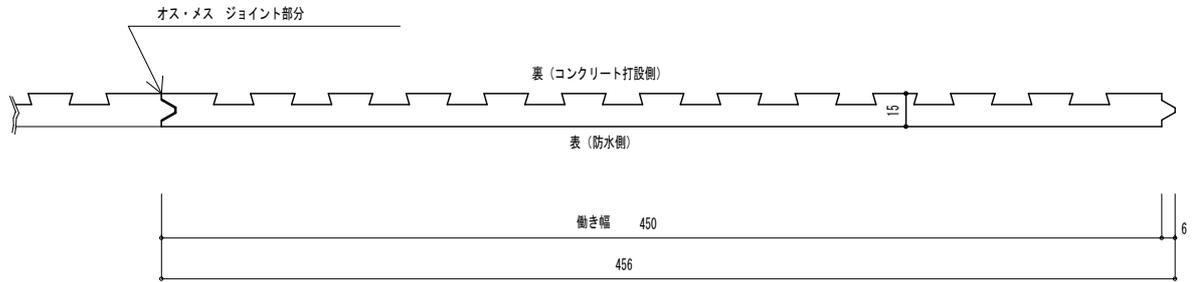


連結金物取付位置図

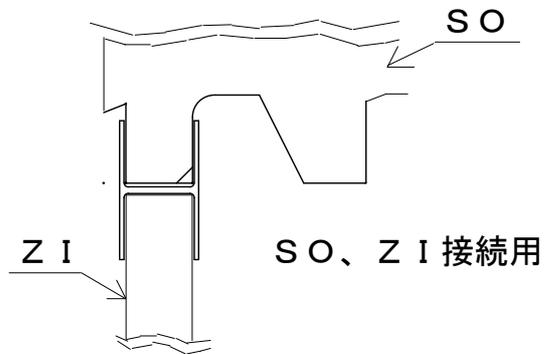
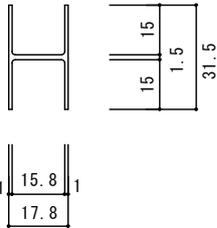


* 連結金物取り付け施工 平面図

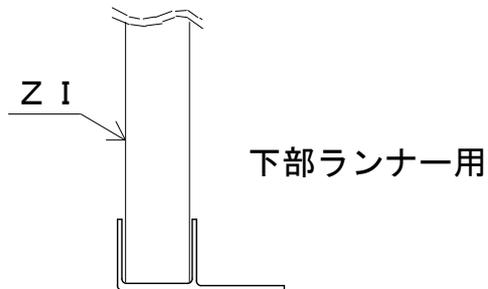
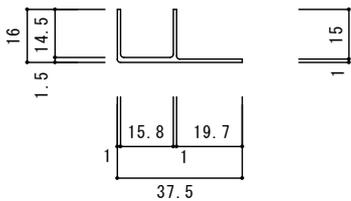
KRF-ZI450 形状図 ・ 付属アルミ金物図



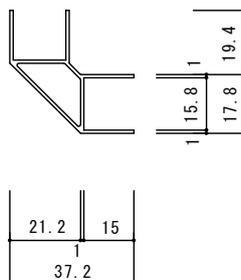
Hジョイナー



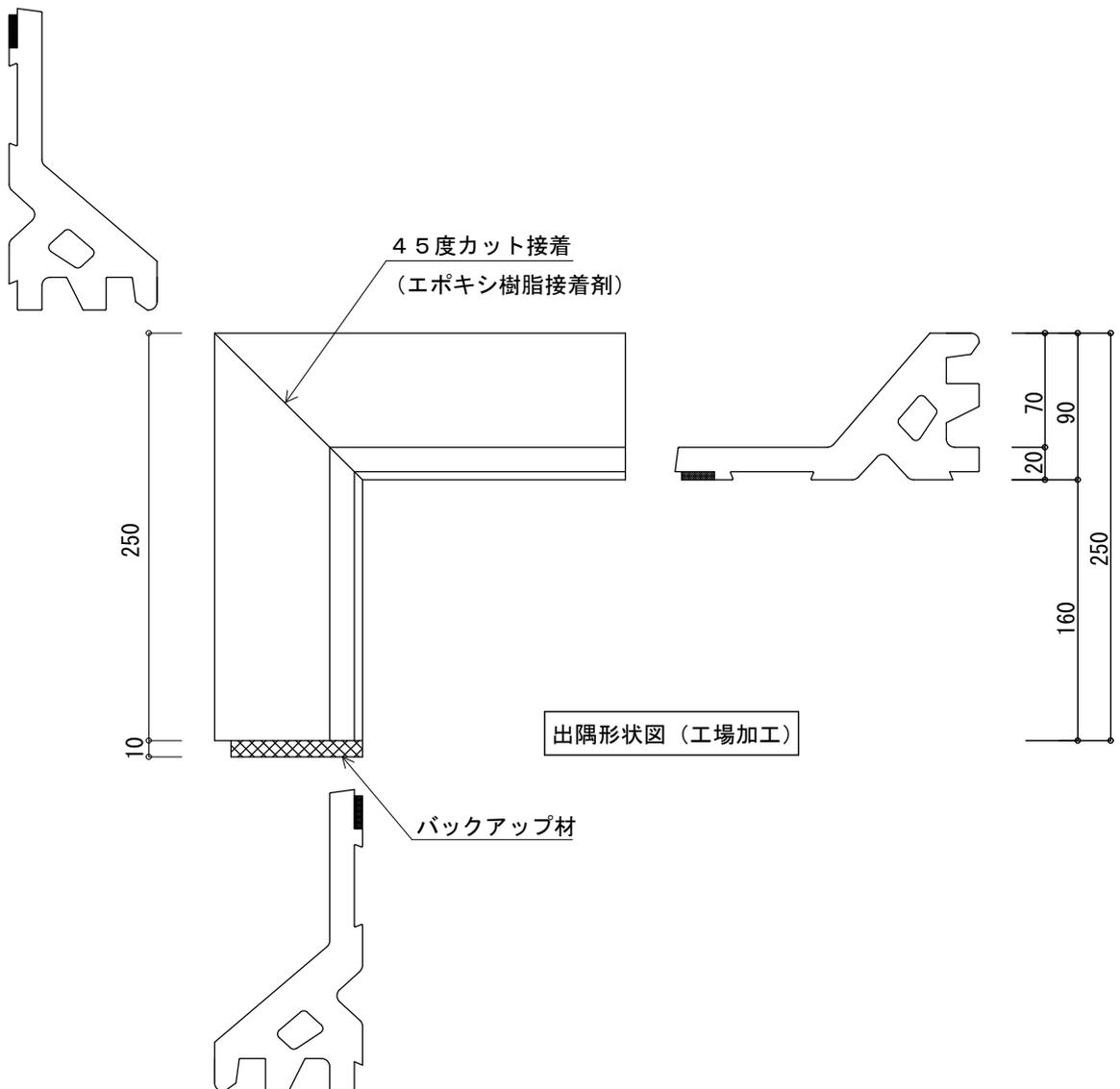
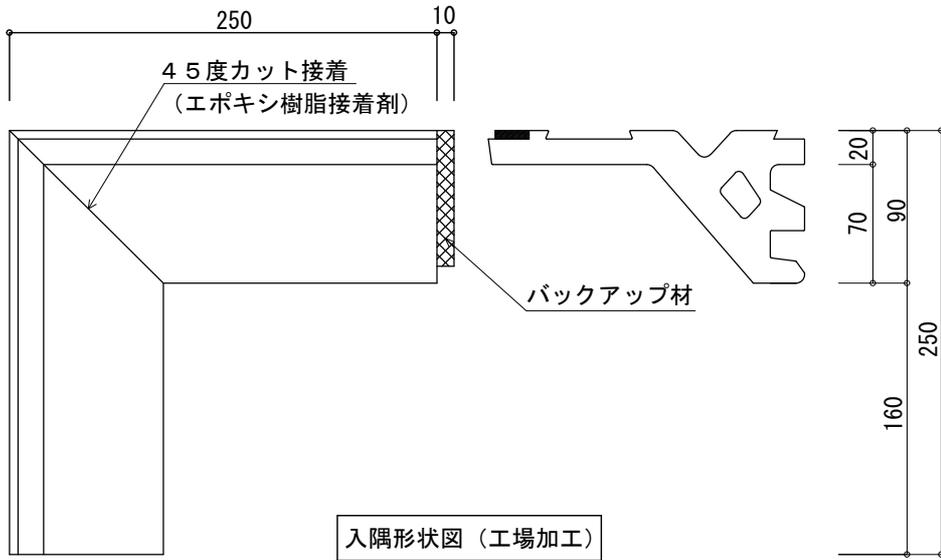
Fジョイナー



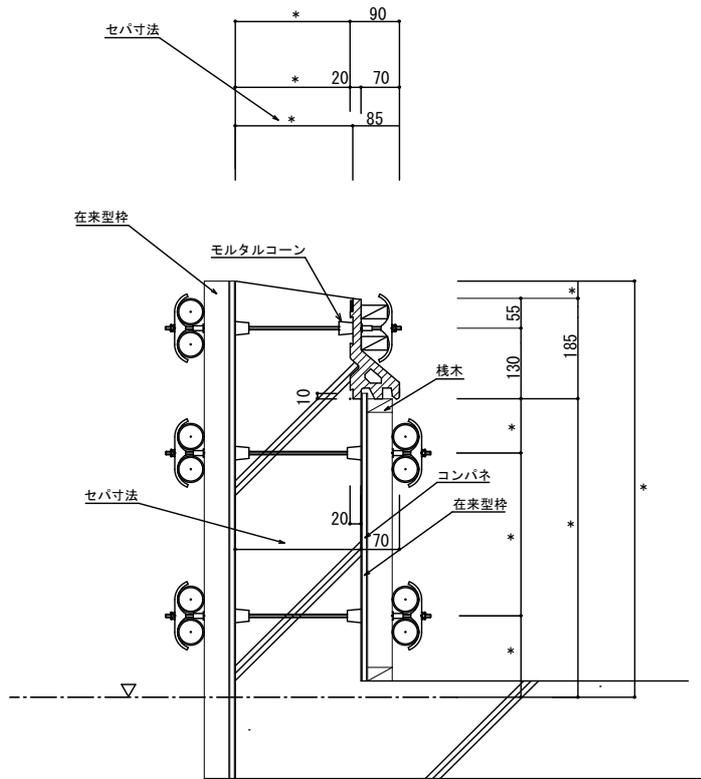
面付きコーナー



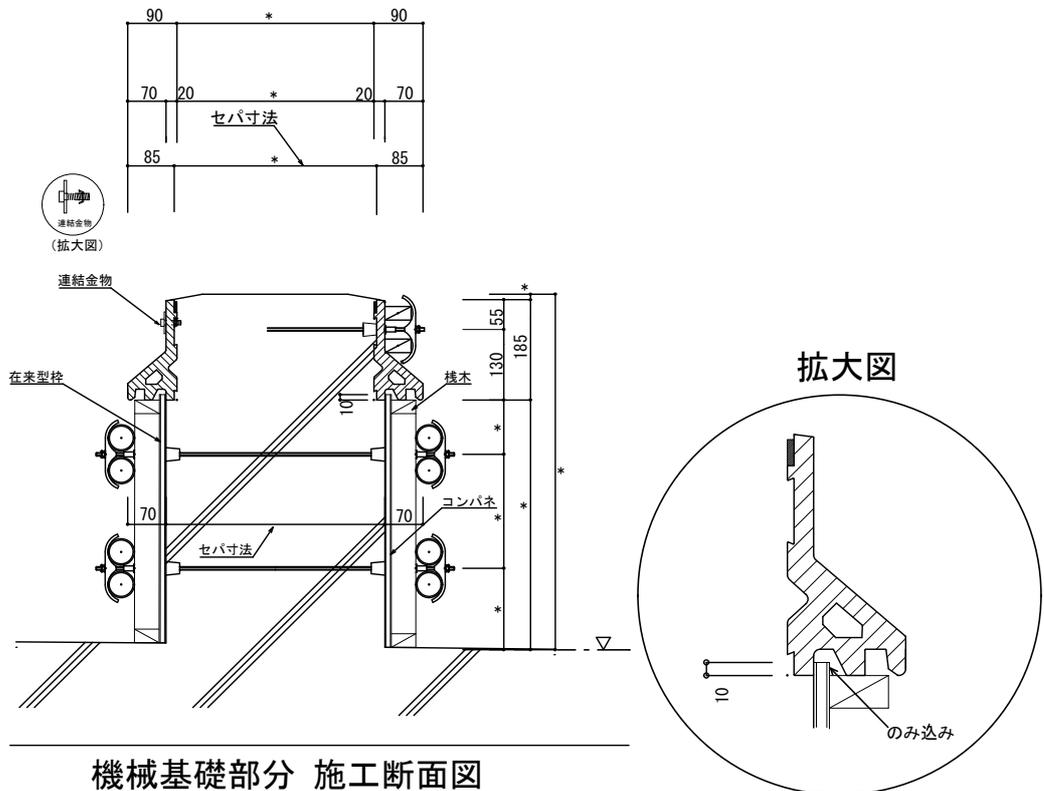
SO185 出隅・入隅 図



SO185 + 在来型枠

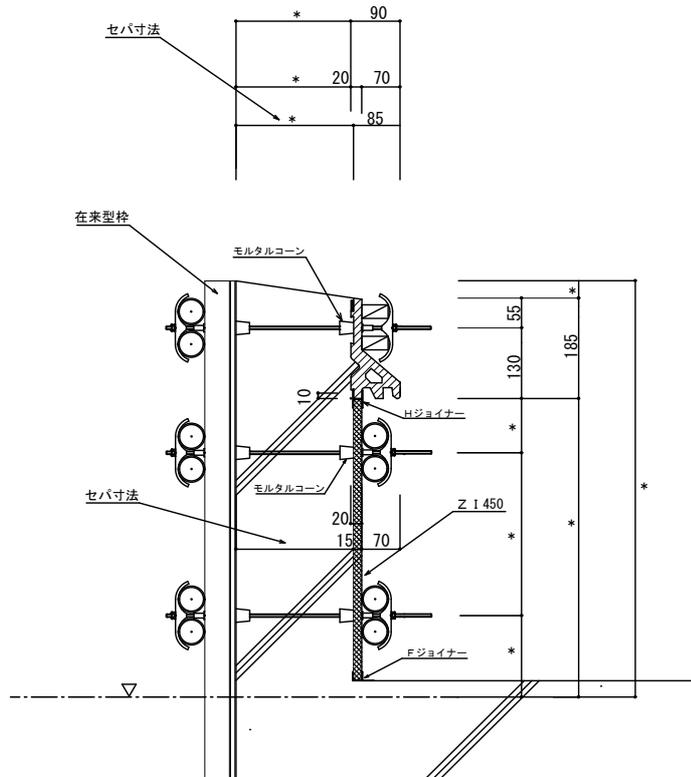


一般部分 施工断面図

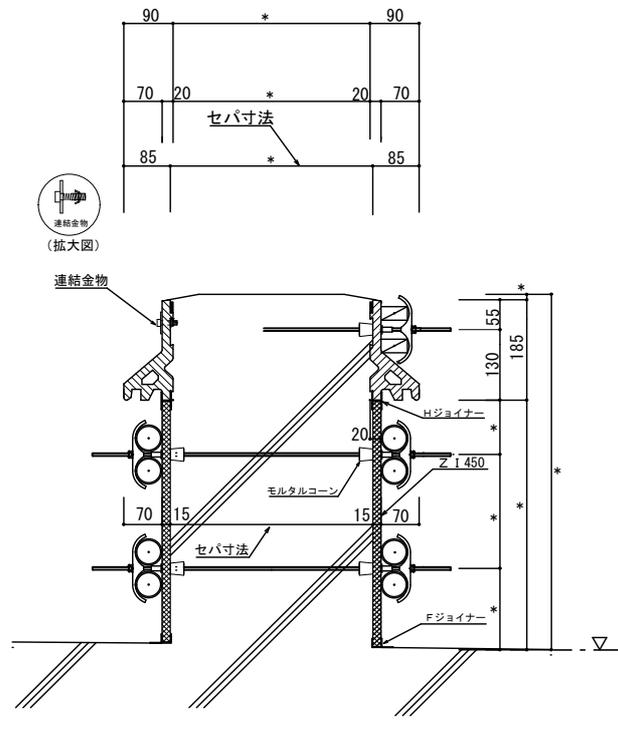


機械基礎部分 施工断面図

SO185 + ZI450 (押出成形板) 型枠

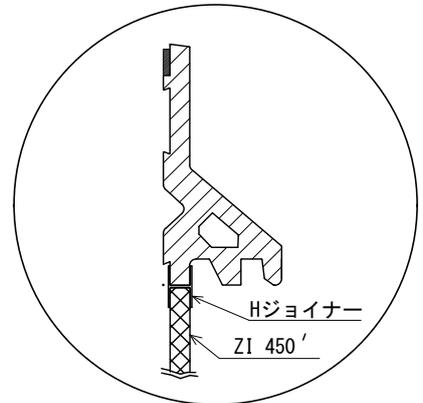


一般部分 施工断面図



機械基礎部分 施工断面図

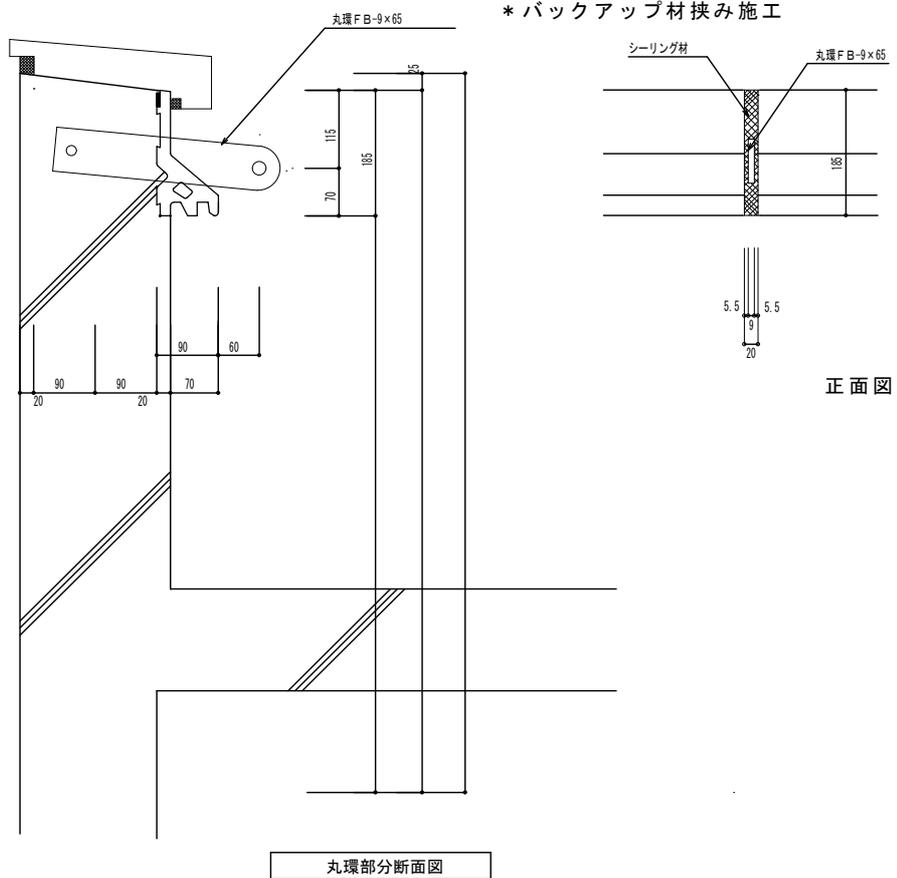
拡大図



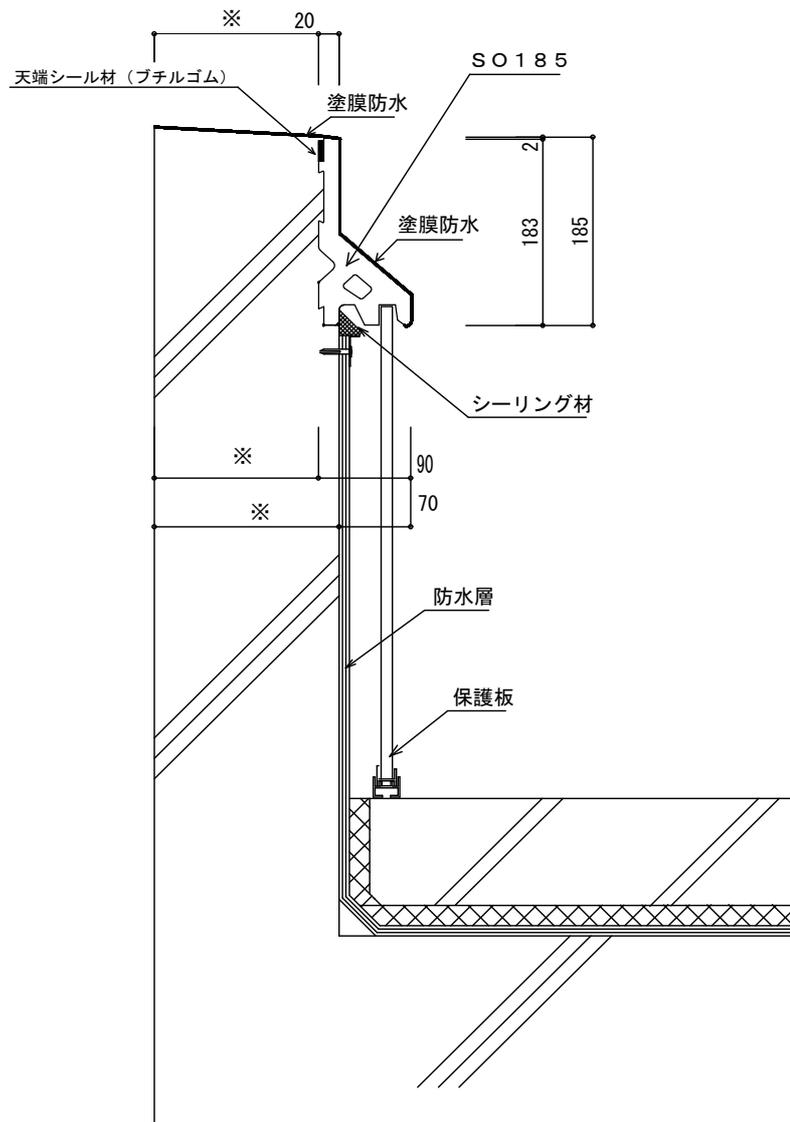
SO185丸環納まり参考写真・参考図面



SO185丸環施工参考図



防水工事納まり参考図



パラペット部分詳細図

| 項目 | | 性 能 | 備 考 |
|-----|-------------------|---|----------------|
| 重量 | 製品比重 | 1.45 | |
| | 製品重量 | KRF-SO185 : 9.6kg/m | 定尺 3m : 28.8kg |
| | | KRF-SO150 : 9.4kg/m | 定尺 3m : 28.2kg |
| | | KRF-ZI450 : 10.1kg/m | 定尺 3m : 30.3kg |
| 強度 | 曲げ強度 | 14.7~17.6N/mm ² (150-180kgf/cm ²) | |
| | 圧縮強度 | 55.2N/mm ² (561.1kgf/cm ²) | |
| | ヤング係数 | 1.18×10 ⁴ N/mm ² (1.2×10 ⁵ kgf/cm ²) | |
| | 付着強度 (対コンクリート) | KRF-SO185・150 : 1.87N/mm ² (18.3kgf/cm ²) | 建研式引張試験機 *1 |
| | | KRF-ZI450 : 1.12N/mm ² (11.0kgf/cm ²) | 建研式引張試験機 *2 |
| 吸水率 | 11.2 wt% | | |
| 不燃性 | 不燃合格 | 建設省公示 1828 号 | |

*1: 接着強度は2010年4月14日OXジャッキ株式会社製建件式接着力試験機
による付着強度試験による。

*1: 接着強度は2010年3月18日OXジャッキ株式会社製建件式接着力試験機
による付着強度試験による。

KRF-SO185の天端ブチルゴムについて

JTS株式会社

1. 装着目的

KRF-SO185（高強度押出成形セメント板）とコンクリート（現場打ち生コン）の天端部分からの雨水浸入を防止する為に天端に非加硫型ブチルゴム系止水材を工場で装着し出荷します。

2. 使用材料

早川ゴム(株)社製 サンタックシーラーQタイプ

3. 見解

ブチルゴムは1943年に開発され、半世紀以上の実績が有ります。

ブチルゴムは耐候性・接着性・耐水性・耐アルカリ性に優れ、被着体の動きに対して十分追従し止水効果を発揮します。

建築・土木関係で使用された実績は約50年ですが、特別材料に起因する事故例はありません。

本製品への採用の実績としましては1992年12月以来約300件近くの実績がありますが漏水事故等、特別な問題は発生しておりません。

4. メカニズム

非加硫型ブチルゴム系止水材の特長は生コンクリートの硬化反応が進行するに従って生コンクリートと接着する性質をもっています。これはブチルゴムに発生した活性基（カルボキシル基）がセメントと水の存在化にイオン化しカルボキシレートイオンとなりセメント成分とイオン反応をおこし化学的結合するためです。

5. 試験

- ① 屋外曝露試験 北海道釧路市釧路合同庁舎（平成11年2月）
- ② 天端防水工法の接着性能試験 清水建設(株)技術研究所で実施（1996年10月）
- ③ サンタックシーラー試験成績書 * 早川ゴム(株)

6. その他

コンクリート天端及びSO185の外表面、目地部分にウレタン塗膜防水を施工して下さい。

KRF-SO185・150の目地部分におけるシーリング工事 及び塗膜防水工事について

1. 目地部分シーリング工事

① 施工範囲

KRF-SO185の目地部分に装着されているバックアップ材の範囲にシーリング材を施工して下さい。(上部バックアップ材はシーリング施工時に取り外して下さい。)

② 使用材料

2成分形ポリウレタン ノンブリードタイプ(推奨品)

* 建築共通仕様書 9-6-2 抜粋 「シーリング材はJAS A 5758に適合するものを使用し、被着体組合せは、押出成形セメント板どうし(コンクリート及びプレキャストコンクリートと同組合せ)、塗装仕上げありの材料とする。」

③ 施工前の確認事項

- ・ KRF-SO185に工場で装着されているバックアップ材が施工の際にずれやねじれを点検し、不良部がある場合には適切な処置を施して下さい。
- ・ マスキングテープは、被着面周辺の汚染防止と仕上がりをきれいにする為に正確に、かつ押さえて十分に貼って下さい。

〈シーリング前〉



〈シーリング後〉



〈塗膜防水施工後〉

2. 塗膜防水工事

コンクリート天端及びSO185外表面・目地部分にウレタン系塗膜防水等を施工して下さい。

* ウレタン系塗膜防水の種別及び工程は建築工事共通仕様書9-5-3に準じる。
SO185の下塗り、表面仕上げについては、パラペット通常コンクリートアゴ部工事と同等とする。

